

# ドルコスト平均法って？

投資信託を購入する場合、まとまった金額で購入する方法と小さい金額で定期的に購入する積立で購入する方法があります。積立で購入する場合の効果についてご説明します。

ではりんごを例にご説明します。毎月りんごを10個ずつ購入した場合と、1,000円ずつ購入した場合を比較してみましょう。

りんご1個の値段が1か月目が100円、2か月目が150円、3か月目が50円、4か月目が100円と変動するとします。

## ■毎月10個ずつりんごを購入（毎月一定数購入）

りんご1個の値段	100円	150円	50円	100円	1個当たり <b>100円</b>
毎月10個ずつ購入	 <b>10個</b>	 <b>10個</b>	 <b>10個</b>	 <b>10個</b>	合計 <b>40個</b>
金額	<b>1,000円</b>	<b>1,500円</b>	<b>500円</b>	<b>1,000円</b>	計 <b>4,000円</b>

毎月10個ずつりんごを購入した場合だと、平均購入単価は**100円**となります。

## ■毎月1,000円ずつりんごを購入（毎月一定額購入）

りんご1個の値段	100円	150円	50円	100円	1個当たり <b>85.7円</b>
毎月1,000円ずつ購入	 <b>10個</b>	<span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">少なく購入</span>  <b>6.7個</b>	<span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">多く購入</span>  <b>20個</b>	 <b>10個</b>	合計 <b>46.7個</b>
金額	<b>1,000円</b>	<b>1,000円</b>	<b>1,000円</b>	<b>1,000円</b>	計 <b>4,000円</b>

毎月1,000円ずつ購入した場合、値段が高い時はりんごは少ししか買えないですが、値段が安い時は多く買うことができ、平均購入単価は**85.7円**となります。

# ドルコスト平均法って？

同じタイミングでも、毎月同じ数で購入するより、同じ金額で購入する方が平均購入単価を抑える効果が期待できます。この方法のことを「**ドルコスト平均法**」といいます。

投資信託や株などの金融商品も日々価格が変動します。

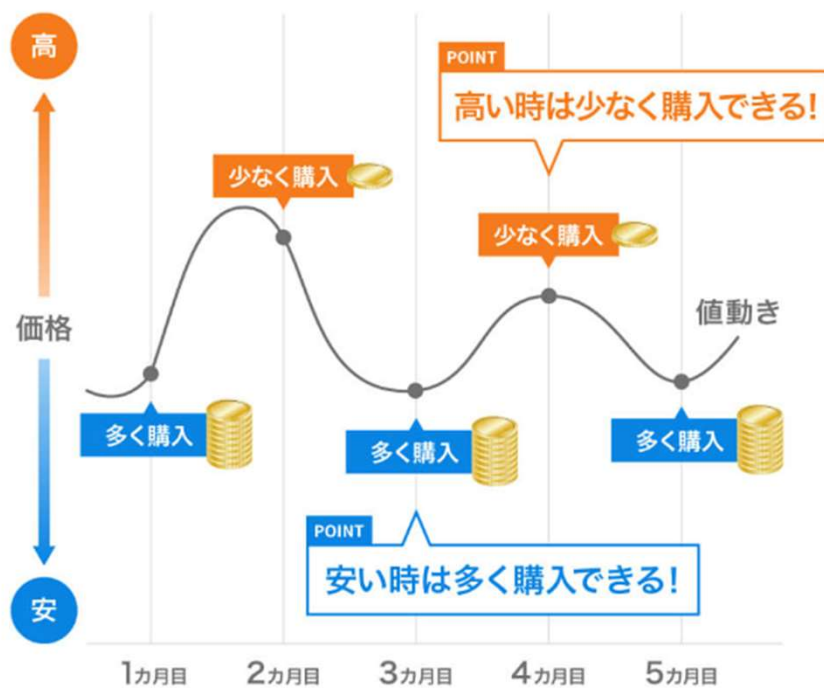
投資信託や株が値上がりしているときには、もっと上がるのではと期待して買い、値下がりするともっと下がるのではと不安になって売ってしまう人が多いです。

安く買って高く売ればよいですが、人間はなかなかそれができないものです。

それを回避する方法が、「積立」という方法です。

りんごの例のように月に一度など、決まった間隔で一定金額をコツコツと資産運用に充てることで、安いときに買わなかったり、高いときにだけ買ってしまったりすることを避けられます。また積立投信では、まとまったお金がなくても少額からすぐ始められますし、時間を分散するというメリットもあります。

積立投資のイメージ図



引用：ウェルスナビ株式会社「積立投資のメリット」

つまり、毎月決まった時点で購入するので買い付けのタイミングを気にせず、手間をかけずに少しずつ投資の総額を増やしていくことができるのです。

よいときも悪いときも一喜一憂せず、積立でじっくり資産運用を続けることが、長い目で資産を育てていくことにつながります。